



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために  
2011-2012年度 国際ロータリーのテーマ

尾張旭ロータリークラブ

Weekly

・会長 西尾 輝久  
・幹事 森 和実  
・会報 福岡 健  
・事務局 尾張旭市商工会館 TEL 0561-54-1263 FAX 0561-54-8945  
E-mail : owariasahi@mte.biglobe.ne.jp  
URL : http://www.owariasahirr.jp/

**本日 第1988回 2011年11月18日(金) No.1877**

本日のプログラム Today's Program

点 鐘

ロータリーソング 「奉仕の理想」

職場例会

担当委員会:職業奉仕委員会

於尾張旭学校給食センター

**前回 第1987回 2011年11月11日(金) 記 録**

斉 唱 : 「それこそロータリー」  
ゲスト : RI第2760地区 地区グローバル委員会  
委員長 (名古屋中RC) 籠橋 美久君  
出席者 : 会員30名中26名出席 出席率86.67%  
前々回補正出席率は10月28日分96.67%

**会長あいさつ** 西尾 輝久

「義援金についての報告とお願い」

昨年度の義援金について、2011年11月1日現在の状況の報告ですが、前年度ガバナー会は今年度ガバナー会に、日本の各地から寄せられた義援金約10億円から見舞金と払戻し金を差し引いた約8億7000万円を引き渡しました。そして今年度ガバナー会は前年度に決めた災害遺児奨学金など教育プログラムに賛同するかどうかの賛否をアンケートしました。その結果は本日現在賛同が9地区(我々の第2760地区始め、2540,2570,2580,2590,2650,2710,2720,2790地区)と個人のピチャイラタクル氏で、不賛同が25地区、現在も態度未定が2地区です。その賛同地区に残っている最終金額は2億8912万9609円になります。(以下基金といえます)。この残っている基金は、賛同地区の直前ガバナーの有志らが、新たにロータリー東日本大震災青少年支援連絡協議会を作り、支援する学生の調査、決定、奨学金の支払いなど、具体的な支援活動を行う事になりました。そして奨学金は岩手県、宮城県、福島県の被災した大学、専門学校生に各5万円を支給し、事務員を1名雇用し、委員は全員無報酬、旅費日当も支給しない、と決めたようです。当地区は前年度集めた義援金から見舞金約400万円を差し引いた2,984万9,696円で、被災学生への支援プロジェクトに参加することになっています。この

支援活動はすぐ11月から実施するようです。そして今年度の松前ガバナーは地区として義援金の募集や、震災支援プログラムは実施しなくて、ロータリー財団管理委員会より全権委任され設置された「ロータリー東日本震災復興基金」へ会員一人5,000円以上の寄付をお願いしたい、と決定されました。この基金への寄付は税制上の優遇措置が認められ、2011年12月31日までの受け付け分に関しては、ポールハリス、フェロー、メジャードナーの認証の対象になります。皆さんすこでも多くのご寄付をお願いします。

**幹事報告**

- ・本日の3分間スピーチ 高島 昇君
- ・11/4 第8回理事役員会 於商工会館 西尾会長以下9名出席。
- ・11/5 犬山RC創立50周年記念式典 於名鉄犬山ホテル 西尾会長、森幹事出席。
- ・11/8 地区広報・雑誌委員長会議 於名鉄グランドホテル 福岡広報委員長出席。
- ・本日の会合 : 指名委員会
- ・次回の例会 : 尾張旭学校給食センター
- ・例会変更お知らせ : 別紙

**指名委員会**

日 時 2011年11月11日(金) 13:40~  
場 所 尾張旭市商工会館内 第四会議室  
議 題 1) 次期理事役員選出。  
出席者 山田 直樹直前会長、西尾会長、井田会長工レクト、森幹事、桜井副幹事、飯田 幸雄君、箕輪良孝君にて、候補者が決まりました。

**家 族 月 間**

	11月25日(金)	12月 2日(金)	12月 9日(金)	12月17日(土)
例 会 予 定	移動例会 担当委員会 : 新世代奉仕委員会 於愛知県立 旭野高等学校	卓話者 : 大野 良之君、桜井 雅博君、山田 直樹君 演題 : 「地区大会 参加報告」	卓話担当者 : プログラム委員会 卓話者 : 名古屋経営短期大学 子ども学科助教 藤森清仁様 演題 : 「東北ボランティア 参加報告」	18日(金) 振替 年忘れ家族会 於名古屋観光ホテル

## 卓 話

### 「ロータリー財団未来の夢計画について」

地区ロータリー財団委員会 補助金委員会グローバル  
補助金担当 委員長 籠橋 美久



今日は、ロータリー財団月間であり、本日より本地区82クラブへの卓話訪問が始まりました。本日は、尾張旭RCへお招き頂き、

卓話の機会をいただきましたこと誠に有難うございます。国際ロータリーの理念であります、「**最も良く奉仕するもの、最も多報いられる**」これらの理念に基づき奉仕活動が進められております。財団が1917年にアーチC・クラフ会長が「**世界でよいことをしよう**」と世界に向けて基金を作られました。

1928年にロータリー財団と改称、その後、1983年に非営利財団法人となりました。5年後に創立100周年を迎えようとしております。創立以来、ロータリー財団は、プログラムにほとんど変更を加えることがありませんでした。今年度から未来の夢計画を実施しております。この計画は、財団の使命を新たにすると共に、ロータリアンが進めるプロジェクトを実施し易くすることで、**持続可能な成果を生む**ことが出来ると共に、ロータリアンが**健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困の救済を行い、世界理解、親善、平和の達成**を目的とし、一層効果的で効率のよい支援方法を編み出しました。これらを踏まえ、地区補助金の制度をより使い易く活用することが、必要と考えております。

ロータリー財団未来の夢計画

#### 1. 目的

- ・財団の使命に沿って、**プログラムと運営を簡素化**にすること。
- ・ロータリアンにとって関連性のある**世界の優先的ニーズ**に取り組むことによって、最大の成果が期待できるロータリアンの奉仕活動に焦点を絞ること。
- ・**世界の目標と地元の目標の両方**を成果もたすためのプログラムを提供すること。
- ・実施決定をさらに地区に移行することによって、地区レベルとクラブレベルで、ロータリー財団が**自分達のものである**という自覚を高めること。

#### 2. 特徴

- ・地区補助金の分配率と使用内容が変わった。・グローバル補助金の新設、・地区で使用できる補助金が大幅に増える、・計画・申請・許可は、全て前年度に行う、・申請が簡素化する。
- 補助金は年次寄付「毎年あなたも100ドルを」と恒久基金の運用益によって支えられています。今年度の年次寄付+恒久基金寄付額は、672,600ドルで御座いました。この「未来の夢計画」は、皆様の寄付額により推進されております。是非、皆様のご寄付をお願い致します。

続いて、地区活動資金の流れについてご説明します。

年次寄付および恒久基金の利息の50%が地区活動資

金(DDF)へ、残り50%が国際活動資金(WF)へ配分されます。ロータリー財団未来の夢計画のうち新地区補助金とグローバル補助金の二つに分かれ、新地区補助金が50%以下、グローバル補助金50%以上に配分されます。本年度の新地区補助金は、64クラブ、168,150ドルが支給されました。

当尾張旭RCは、103.70ドル/人、合計2,800ドル寄付額で御座いました。ご協力感謝申し上げます。新地区補助金は、使用目的が地区の裁量にて決定することが可能となり、使いやすい補助金となりました。従いまして、クラブからの申請が地区へ提出され、完了報告をするのみで済みます。グローバル補助金は、財団の使命に関連する以下の6重点分野の一つにおいて、大きな成果と長期的な持続が望める大規模な国際プロジェクトを支援するものです。

- ・平和と紛争予防/紛争解決、・疾病予防と治療、・水と衛生設備、・母子の健康、・基本的教育と識字率向上、・経済と地域社会の発展。当地区の活動内容から見ても、グローバル補助金は海外への支援(世界パイロット地区100地区内における活動に限る)を重点的に行います。ここで、グローバル補助金の計画から申請に至るまでの流れをご説明します。まずは、6つの重点分野のいずれかに該当することで、実施国側(援助を受ける側)と本地区またはクラブ(援助国側)間にて計画をする。その計画を提案書案を作成し地区財団委員会グローバル補助金委員会へ提出して頂きます。提出して頂きました提案書案を日本事務局へ送付致し、打合せを致します。その後、正式にRI財団委員会へ指定様式に記入の上、メールにて送ります。この時の指定様式は、会員登録をして頂いてないとCPU上に標記されませんので「**会員アクセス**」にて登録をして頂き、登録者の方がお送りして頂きます。この提案書がRI財団委員会から承認され、次に申請書をメールにて送付して頂きます。この間およそ6ヶ月位を想定しております。

このような手続きが完了し、RI財団委員会より承認された後、12ヶ月以内にプロジェクトを実施しなければなりません。以上が手続きに関する概略です。

次に、提案書作成に関する注意事項を列記させていただきます。1. 実施地のクラブまたは地区との協同にてプロジェクトを進める。2. 提案書の受付は、年間を通して随時受付です。3. クラブまたは地区が計画するプロジェクトは、他の団体が計画したものに参加するものであってはなりません。

東日本地震の件にて、多くの質問事項が寄せられております。代表的な3点について説明します。

1. クラブにて復興活動を考えているが、支援先や方法がわからない。東日本大震災支援**プロジェクトチームの設立**を計画しております。
2. クラブ計画に沿って進めたいが如何か。各クラブの活動方針は**尊重し、強制しない**。
3. 新地区補助金を申請したが、決定金額が少ないのは何故か。限られた資金を**応募クラブで単純に割り算**以上、新地区補助金、グローバル補助金についてお話しさせて頂きました。

最後に世界平和フェロシップ委員会より、本地区はじめての世界平和フェローが誕生。津島RC推薦、水野真希さんです。オーストラリア、クイーンズランド大学院ロータリーセンターへ見事合格し勉学に励んでいます。国連開発機構ブータン事務所に勤務され、将来前途有望な女性です。ここにご報告いたします。

**ニコボックスは次回の掲載にさせていただきます。**